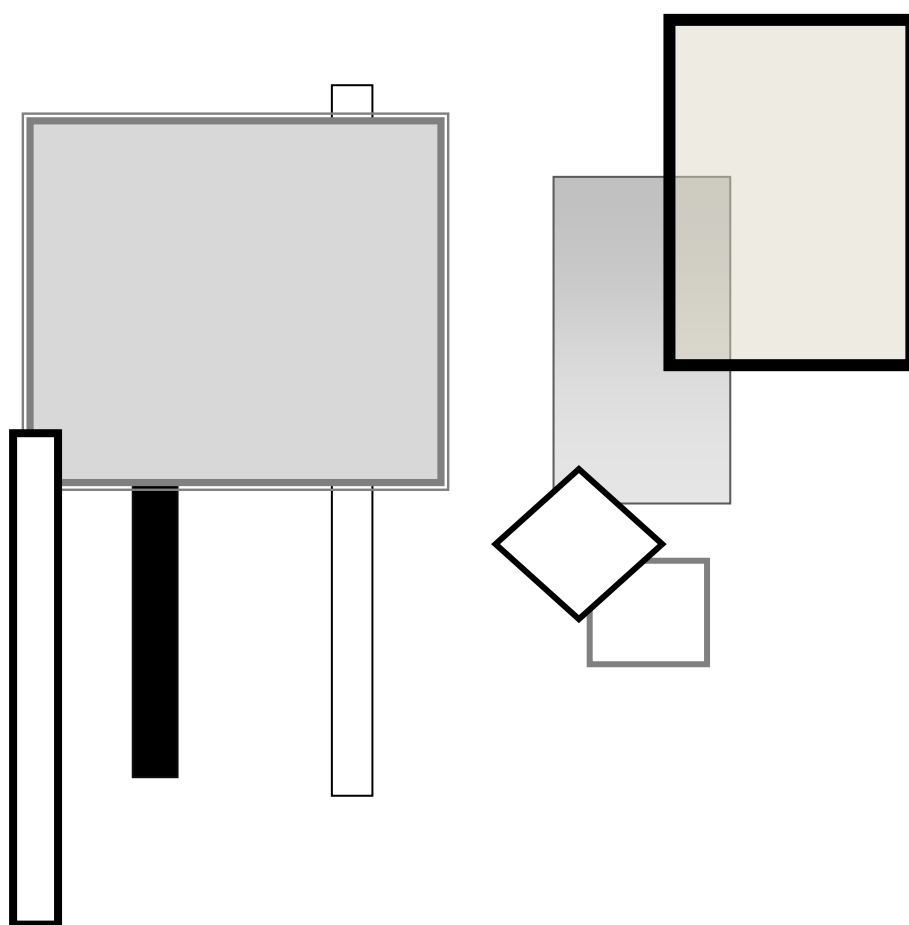


千葉市教育研究会造形部会

授業研究資料

つないで つるして



平成27年10月20日(火)

学習活動 14:00~14:45 図工室

協議会 15:00~16:30 体育館

千葉市立源小学校

吉田 美智子

1 題材名 「つないで つるして」

2 題材について

造形遊びは、児童がもっている遊び性に注目し、造形的な要素を学習活動として組み立てたものであり、活動の過程を大切にしたものである。児童が体全体で材料や場所に働きかけ、扱う材料の特徴から発想し、自ら選び、判断し、試し、表現するなどの創造的活動を通して、もてる力を十分に働かせる楽しい活動である。絵や工作などでは自分の思うような作品ができず嫌になってしまう児童も、技能の優劣や評価にとらわれず、楽しみながら活動できるものと考え、紙を変身させていく本題材を取り上げた。

本題材は、学習指導要領の目標（1）「進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。」（2）「造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。」にあたる。また、この目標をうけて、内容Aの（1）イ「感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくること。」（1）ウ「並べたり、つないだり、積んだりするなど体全体を働かせてつくること。」と内容が構成されている。本題材は、これらの目標と内容を受けて設定したものである。

本題材では、材料として新聞紙や広告、包装紙を使う。紙は、子どもたちにとって身近な素材で、切ったり、丸めたり、折ったりという行為がしやすい。更に、ノリやテープで接着も容易にすることができる。紙をつなげたり、つるしたりすることで生まれる形から思いを広げ、つなげ方やつるし方を考え、発見する喜びを味わいながらつくらせる活動をしていきたい。また、紙を用いることで、つないだり、つるしたり、何かに見立てたりする行為を楽しませたい。

本学級の児童は、造形活動に対して関心意欲が高く、絵をかくことやものを作ることを楽しんでいる児童が多い。また、図画工作の時間だけでなく、休み時間等に絵をかいたり、粘土で遊んだり造形活動に楽しむ姿が多く見られる。しかしながら、机上だけの活動でスケールが小さくなったり、画一的な作品となったりし、発想が貧弱な点もある。そこで、本題材では、造形遊びの特性を生かし、児童の自由な発想を引き出しながら、体全体を使って生き生きと活動に取り組めるようにしたいと考えた。自分の思いをうまく表現できない児童に対しては、友達とかかわり合いながら活動する中で、一緒に考えたり活動したりすることで表現する楽しさを味あわせていきたい。

本時では、子どもたちがつなげたり、つるしたりした形に着目してみることができるよう、適当な高さにひもを用意する。子どもたちにとって、机や床の上で造形活動をするという経験はあるが、つるして、空間を利用した作品をつくるという経験はあまりない。つるした紙の形から動物や建物など何かに見立てながらついたり、造形活動そのものを楽しんだりできるようにしていきたい。一人一人の思いを大切に、みんなでイメージをふくらませながら、協力して活動するよう支援していきたい。また、教室の利用については、意図的にひもや机、椅子を設置して高低差を作りだすなどして、のびのびと造形遊びができる環境を整えたい。

### 3 題材の目標

切ったり破いたりした紙を友達と協力しながら、つないだりつるしたりしてつくる。

### 4 評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自分のイメージするものを作る楽しさを味わおうとしている。	紙をいろいろな形に切った形を組み合わせ、どのように表すかつなぎ方やつるし方を考えている。	自分の思いに合わせて、表し方を選んだり組み合わせたりしてつなぎ方やつるし方を工夫している。	できた作品の楽しさを感じたり、よさに気づいたりしている。

### 5 研究の視点

**視点1：児童が表現する喜びを十分に味わい、楽しみながら活動するための手立て**

#### ○豊富な材料

2年生の発達段階において、はさみをうまく使えない児童がいる。児童の実態を見ても、何人かの児童が技能面で不安を抱えている。そこで、あらかじめいろいろな形に切った紙を用意しておく。子ども達は、はさみや手を使って自分たちでもいろいろな形に切っていくが、はさみを使うことが苦手な児童はあらかじめ切ったものを使うことで創造の幅も広がると考える。

#### ○接合を手助けする補助道具

はさみと同様に、のりの量を調整して紙を貼ったりすることができない児童もいる。のりやセロハンテープをうまく使えない児童に対しては、紙をつなげる道具として、洗濯バサミやクリップ、ホチキスを用意しておく。いろいろな接着方法を準備しておくことで、技能面で不安を抱える児童も楽しんで、つないだりつるしたりしていけると考えた。

#### ○場の設定

造形遊びの経験が少ない児童にとって、活動そのものに対して、「何をすればいいかわからない」「材料をどうしていったらいいかわからない」という戸惑うことが予想される。紙をイメージ通りに組み合わせられない児童もいるだろう。本題材の導入では、紙を細長く切ったり破いたりして、材料と十分に関わらせたい。いろいろな形の紙を、想像を膨らませてつないだりつるしたりできるように、机や椅子を意図的に置いておく。また、天井からひもをつるしておき、高低差を出す。そうすることにより、平面だけでなく空間を活用していくことの楽しさを味わえるようにしていきたい。

**視点2：創造する楽しさを味わうための振り返りの工夫**

#### ○自分のつくったものの好きなところを見つける活動

終末では、自分のつくったものを見つめ、お気に入りの場所を見つける活動を行う。「細長い紙をつなげていったら、とっても長い蛇みたいになったよ。」「紙を丸くつけていったら、いろいろな丸ができて楽しかったよ。」「つるしたら、滝みたいできれいだよ。」といったことを話し合う場を設けたい。自分のつくったものをみることで、「発見する喜び」を味わわせたい。また、全体で紙の形に着目してみることで、友達の表現の良さに気づき、創造する楽しさにつなげていきたい。

6 指導計画（全3時間 本時 2/3）

時間	子どもの活動	教師の支援
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集めた紙でどんなことができそうか考える。</li> <li>○紙をいろいろな形に切ってみる。</li> <li>○気に入った紙や場所を見つけて、紙をつないでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集めた紙を広げたりしながら、何ができるかを自由に考えられるようにする。</li> <li>○はさみの使い方を確認し、安全に作業ができるようにする。</li> <li>○安全に配慮して、壁や机など、図工室にあるものは自由に使えるようにする。</li> <li>○必要に応じて、紙をつなげる方法を提示する。</li> </ul>
2 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>○つないだ紙からイメージを膨らませ、思いついた活動を試す。</li> <li>○つないだ紙をもっとつないだり、つるしたりしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○紙をつるす方法を提示する。</li> <li>○図工室の中をさらに充実させ、より活動が広がるようにする。</li> <li>○お気に入りの場所を発表させることで、友達の活動のよさに気が付くようにする。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動を通して感じたことや考えたことを伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシートに活動を通して気づいたことや感じたことを記入させる。</li> <li>○友達と感じたことを発表し合わせ、お互いの感じ方を認め合えるようにする。</li> </ul>

7 本時の指導

(1) 目標

- 自分のイメージするものを作る楽しさを味わおうとしている。(関心・意欲・態度)
- 紙をいろいろな切った形を組み合わせ、工夫して表す。(発想や構想の能力)

(2) 展開 (2/3)

学習活動と内容	教師のかかわり (○) と評価の観点 (◆)	材料・資料
1 前時の活動を振り返り、本時のめあてをつかむ。	○前時に作ったものの感想を聞き、材料のよさを生かしているものや、工夫してつないでいるものを紹介することで、本時の活動への意欲を高める。	
紙をつなげて、見たこともない世界を作ろう。		
2 活動の約束を確認する。 ・もっと世界を広げたい ・紙を上からつないでいきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道具を使う場所と使い方を明確にし、安全に活動が進められるようにする。</li> <li>○友達と相談したり、見合ったりしながら造形遊びをしてもよいことを確認する。</li> </ul>	材料 (新聞紙、広告、包装紙など)

<p>3 材料にかかわりあいながら、造形遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の手がけているものと自分のものをつなげたい。</li> <li>・もっと上からつるして高さを出したい。</li> </ul> <p>・紙をもっと切ってつなぎたい。</p> <p>・丸く切った紙をつなげてみたい。</p>	<p>○図工室全体を使って活動してよいことを知らせる。</p> <p>○個人の活動から始めることで、一人一人が材料に十分にかかわりながら考えられるようにする。</p> <p>○思うように活動を進められない児童には、友達の活動を見ることなど、適宜助言をする。</p> <p>○工夫しているところをほめ、発想を広げる意欲が高まるようにする。</p> <p>◆自分のイメージするものを作る楽しさを味わおうとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>○自分の周りから友達の活動へ、さらに空間全体へと目が向けられるように声をかける。</p> <p>◆紙をいろいろに切った形を組み合わせ、どのように表すかつなぎ方やつるし方を考えている。(発想と構想の能力)</p>	<p>道具</p> <p>(はさみ、ボンド、セロハンテープ、洗濯バサミ、ひもなど)</p>
<p>4 お気に入りの場所を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんどんつなげたら道みたいたいになったよ。</li> <li>・細長い紙をつなげていって蛇みたいたいにおもしろくしたよ。</li> </ul>	<p>○自分の気に入っている場所やその場所がどんな感じか発表させる。</p>	
<p>5 活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洗濯バサミを使ってつるすと、簡単につなげた。</li> <li>・友達と合わせて、どんどんつなげていくのが楽しかった。</li> </ul>	<p>○作り上げた空間全体について、感じたことや考えたことを発表させる。</p>	
<p>6 次時の活動の確認をする。</p>	<p>○お気に入りの場所で写真を撮って記録することやクラス全体で鑑賞をすることを伝え、次時への意欲をもたせる。</p>	



# つないで つるして

年 組 名前 \_\_\_\_\_

1. めあて

紙をつなげて、見たこともないせかいを作ろう。

2. しゃしん

3. ぶり返り (かつどうして、かんじたことを書こう。)

目・耳・はな・心でどんな  
ことをかんじたかな？

かたちはどう  
だったかな？